

2026年5月15日

地方創生

中小企業庁の「ローカル・ゼブラ」に関する報告書に カンダまちおこしの地方創生事例が掲載されました

十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし（以下「当社」といいます。）は、地域課題の解決を目指し、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

今般、当社が支援する岐阜県白川村の酒蔵建設プロジェクト「白川村の蔵」が、中小企業庁「令和7年度 持続可能な地域経済の実装に向けた提言ーローカル・ゼブラから広がるコミュニティの設計ー」（ローカル・ゼブラ・コミュニティ推進会議 調査報告書）に掲載されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は今後も「ローカルGP」として、地域課題の解決を目指す多様な主体をつなぎ、持続可能な地域づくりに全力で貢献してまいります。

記

1. 概要

本報告書の「4. 地域を動かす『資金』の設計」の章において、地域内外の資金を集め分配や成長に伴走する「ローカルGP（ジェネラル・パートナー）」の実践事例として、当社が支援する岐阜県白川村の酒蔵建設プロジェクト「白川村の蔵」が取り上げられました。

2. 評価された当社の取組み

公民連携のもとで事業推進を担う当社の役割として、主に以下が紹介されています。

- ・企業版ふるさと納税、クラウドファンディング型ふるさと納税「ぎふちよく」、十六銀行の寄附型私募債などを組み合わせた資金計画の設計
- ・住民ワークショップを通じた地域に根付く事業設計の支援 など

3. 掲載内容

[中小企業庁 報告書（23頁）](#)

以上